



木 森を守る

～森林環境譲与税の活用～

越谷市

こしがや・おがの交流の森

なぜ森を守るの？

森には私たちの生活を守るたくさんの働きがあります。

しかし、森も年を取ったり、手入れをしなかったりすることで本来の力を発揮出来なくなってしまうます。

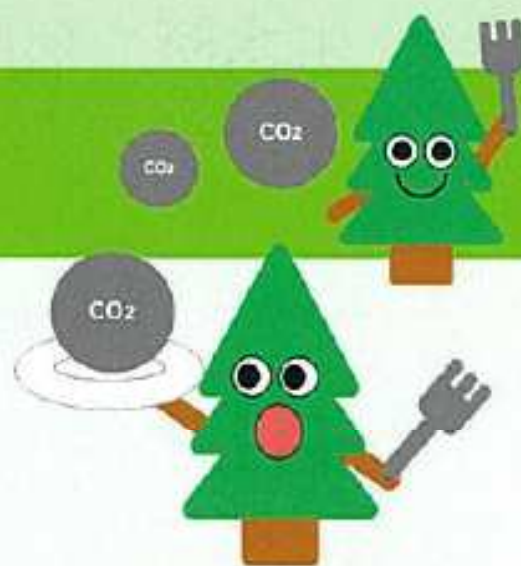
森林環境譲与税を有効に使い、森を適切に管理していくことは、森、ひいては私たちの生活を守ることにつながります。



森の働き ①

温室効果ガスの削減

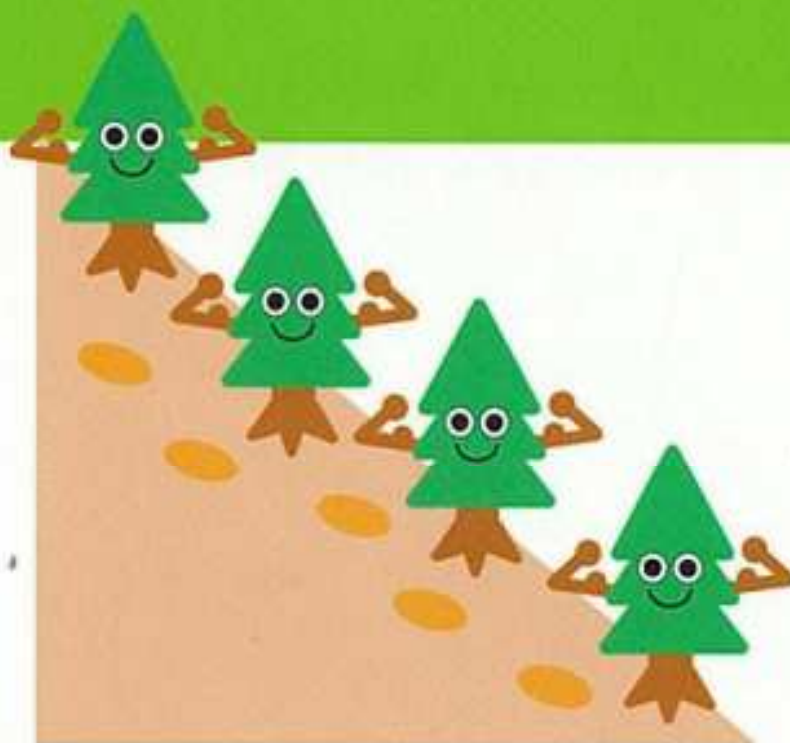
木々は地球温暖化の原因となる温室効果ガス（二酸化炭素）を吸収します。



森の働き② 自然災害の防止

木々が根を張ることで土砂崩れを防ぎます。

また、下草や落葉・枝などが表土の流出を抑えます。



森の働き③ 水資源の貯蓄・浄水

雨水をゆっくり土の中に浸透させ、洪水時や無降雨時の川の流れを調整します。

さらに、染み込んだ雨水を浄化します。



越谷市の森林環境譲与税

森林環境譲与税(森林環境税)は「森林」を適切に整備するために創設されました。

越谷市には「森林」はありませんが、

県産や国産の木材(間伐材)を使うことは“埼玉県や日本の森林を守ること”につながります。

越谷市の活用事例を紹介します



木育イベント

毎年秋頃にイオンレイクタウンで開催されている「ECO Week」で木育イベントを実施しています。

工作やクイズ、体験型のワークショップを通して森の働きや木材利用の意義などを学びます。



こしがや・おがの交流の森

令和5年5月、小鹿野町と「越谷市と小鹿野町との森林環境整備の実施に関する協定」を締結しました。

約1.5haの森を「こしがや・おがの交流の森」と名付け、森林環境譲与税を活用し整備を行います。

カーボンオフセット制度の活用やみなさんの憩いの場として整備をしていきます。

実施に関する協定



こしがやSDGsパートナー オリジナルピンバッジ・登録証盾

令和5年2月から始まった「こしがやSDGsパートナー」の登録者へ配付するピンバッジと盾です。
埼玉県内の森林を整備した際に発生した間伐材を利用しています。



木育推進事業

保育園などの市内就学前児童施設の5歳児を対象に、国産木材で作った積み木を配付しています。
木のぬくもりを肌で感じながら、森林の大切さなどを学びます。



えんぴつ

秩父地域森林林業活性化協議会と協働でえんぴつを作成しました、イベントなどで配布し、森林環境譲与税のPRなどに利用します。秩父地域の間伐材を使うことは森を守ることにつながります。



エントランス棟の木製家具

令和5年度に完成した新庁舎（エントランス棟）のエントランスホール及び市民ラウンジ等に木製備品を設置しました。訪れた方々に木のぬくもりを身近に感じていただくことができます。



森林環境税・森林環境譲与税の仕組み

森林環境税

年間 1,000 円を個人住民税に上乗せして徴収



国民

市町村

都道府県

森林環境譲与税

国から市町村と都道府県に譲与

市町村

都道府県

- 森林整備
 - 人材育成
 - 木材利用
 - 普及啓発
- に活用

こちらも
ご覧ください

▼越谷市ホームページ



▼林野庁ホームページ

